

令和6年度取り組み状況(狭山市自殺対策計画)

【基本施策4】児童・生徒・学生に対するいのちを大切にす教育や啓発の充実

進捗状況:A実施済み、B未実施だが、実施に向け準備中、C未実施

番号	施策	取り組み	担当課	令和6年度取り組み状況(予定含む)		今後の方向性(施策ごとの目標達成に向けた対応策など)
				対象者、事業名、参加者数や事業実施回数等の実績数	進捗状況	
①-1	いのちを尊重する授業の実践	道徳教育「いのちの授業」	教育指導課	・「特別な教科 道徳」で「生命の尊さ」の内容項目についての授業を全小中学校、全学年で行った。 ・「いのちの授業」の一環として、市内の中学校で乳幼児とのふれあいや育児中の母親からの説明、妊婦体験等を通し、いのちの大切さとともに自尊感情を高める指導を計画した。	A	来年度も市内全中学校で実施予定。
2		生活アンケートの実施	教育指導課	・全国学力・学習状況調査の質問項目や、各学期毎に実施する「いじめアンケート」、「生活アンケート」等で児童生徒の抱える課題について把握し、情報を学校内で共有し、支援を行った。	A	こども支援課や児童相談所、福祉、警察と連携し、児童生徒の家庭に係る問題への支援を行う。
3		いじめゼロの誓い(※各学校で名称の違いあり)	教育指導課	各校で「さやまっ子の誓い」の承認と、各校のいじめ問題に対する取り組みの発表を行った。	A	児童生徒自身が、いじめについて、自分自身のことととらえられるよう道徳などを通じ指導していく。

②-1	児童・生徒の SOSに対する 支援	長期休業明けとなる児童・生徒への対応	教育指導課	・登校日前に配慮が必要な児童生徒への電話連絡や家庭訪問を行った。 ・登校した児童・生徒の様子を教職員が観察するとともに、必要に応じて個別の面談を実施し、児童・生徒の不安や問題の解決への支援を行った。	A	こども支援課や児童相談所、警察と連携し、児童生徒の家庭に係る問題への支援を行う。
2		児童生徒理解・教育支援シートの活用	教育指導課	配慮が必要な児童・生徒に対し、教育支援シートを作成し、情報の蓄積と共有を図った。	A	こども支援課や児童相談所、警察と連携し、児童生徒の家庭に係る問題への支援を行う。
3		QUアンケートの実施・活用	教育指導課	・市内全小中学校でQ-Uテストを年に2回実施し、個々の児童生徒の実態の把握を行った。 ・各学校で学級の状態を把握するとともに、学級の状態の改善のために必要な手立てを知るために教職員向けの研修会を実施した。	A	児童生徒の心の変容に気づき、早期発見や未然防止を行い、職員の研修を続ける。
4		教育センターによる支援	教育センター	対象者を市内小中学生、保護者、教員とし、通年で教育相談員による電話相談・来所相談を実施した。	A	毎週水曜日に相談員が全員出勤する日をつくり、情報交換をする会議を実施した。相談者の気持ちに寄り添った相談活動ができるよう最低限の相談活動マニュアルを作成する。
		相談窓口のリーフレット配布	保健センター	子供向けの相談窓口についてのリーフレットを作成し、各学校から配布し、周知を図っている。 市立中学1年生に配付。	A	内容を見直ししながら、継続して実施。

③-1	学生に対する自殺予防に関する普及・啓発	市内高校・大学へ自殺予防の啓発	保健センター	若者の心の健康に関する情報提供として専用サイト「スマート保健室」について、市内の高校や大学にポスター掲示を依頼した。	A	学校数や掲示場所を増やしていくなど啓発を続けていく。
-----	---------------------	-----------------	--------	--	---	----------------------------